

ホタテガイ養殖管理情報

分散の遅れによる稚貝の成長悪化や異常貝増加に注意しましょう

1 稚貝の状況について

10月5日～6日に湾内7地点で稚貝の成育状況を調査しました。測定結果は図1、表1のとおりです。
未分散の稚貝は、平均殻長が18.3mm～28.3mm、へい死率が0～53.3%、異常貝率が0～28.0%となっています。

分散後の稚貝は、平均殻長が31.7mm、へい死率が12.2%、異常貝率が2.3%となっています。

未分散の稚貝については、収容枚数が多く、錘を付けていないパールネットで高いへい死率と異常貝率となっていますが、原因として8月以降強いヤマセが断続的に吹いたことによる速い潮の影響が考えられます。

2 海況

10月8日午前8時時点の陸奥湾の各ブイにおける中層(10～15m)の水温は18.6～19.7℃となっています。

3 稚貝分散作業時の注意点

- 稚貝の大きさが平年よりも大きいため、分散が遅れると、稚貝の成長悪化や、異常貝増加によるへい死につながるので、早めに作業を行い、遅くとも11月末までに終わらせるようにしましょう。
- また、1段当りの収容枚数が多いと同様に成長悪化やへい死につながるので、養殖方法に応じた適正な収容枚数(1段当り10～20枚)を心がけて作業してください。
- 速い潮によるぶつかり合いで、外套膜(ヒモ)が傷ついてへい死しないように、ネットにはオモリをつけましょう。また、潮が速い場合は、作業を控えましょう。
- 作業終了後は波浪によるぶつかり合いを防ぐために、施設を浮かせずぎないようにしましょう。

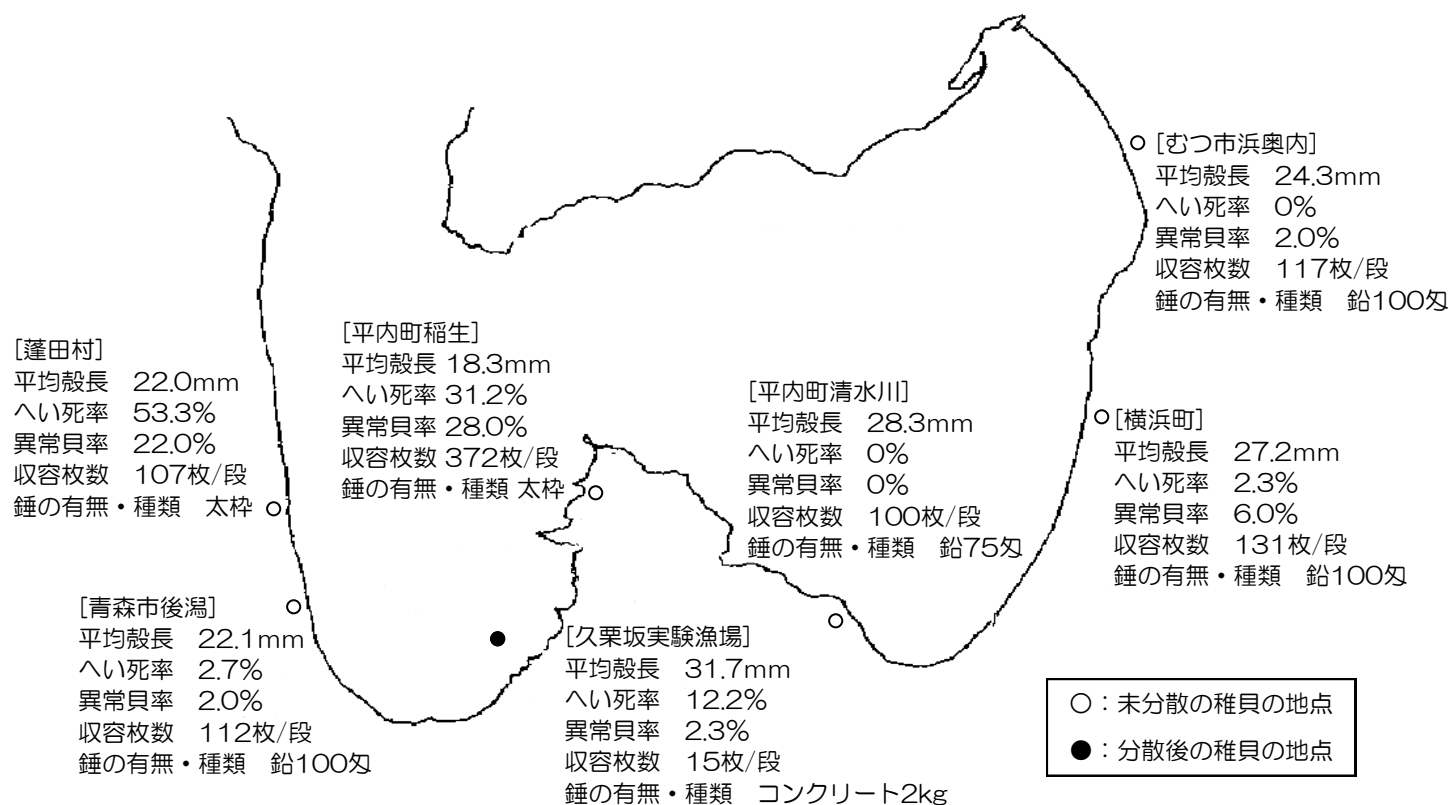


図1 各地点の稚貝の状況

表1 現在の稚貝の状況

調査地点	稚貝採取 月日	採苗時の フルイの目合 (分)	幹綱 水深 (m)	錘の有無・ 種類	分散 月日	調査 月日	調査 段数	収容 枚数 (枚)	死貝数 (枚)	へい死率 (%)	異常貝率 (%)	平均 殻長 (mm)
蓬田村	8月6日	2.3	15	太枠	未分散	10月6日	中段 1段分	107	57	53.3	22.0	22.0
青森市・後潟	8月4日	2.3	15	鉛100匁	未分散	10月5日	中段 1段分	112	3	2.7	2.0	22.1
久栗坂実験漁場	7月10日	2.0	25	コンクリート 2kg	9月17日	10月6日	上段 3段分	43	7	16.3	2.8	31.6
							中段 4段分	59	10	16.9	2.0	31.9
							下段 3段分	46	1	2.2	2.2	31.4
							10段/連 の平均	14.8	1.8	12.2	2.3	31.7
平内町・稲生	7月20日	1.8	20	太枠	未分散	10月5日	中段 1段分	372	116	31.2	28.0	18.3
平内町・清水川	7月25日	2.0	8	鉛75匁	未分散	10月5日	中段 1段分	100	0	0.0	0.0	28.3
横浜町	7月22日	2.0	15	鉛100匁	未分散	10月6日	中段 1段分	131	3	2.3	6.0	27.2
むつ市・浜奥内	7月28日	1.5	12	鉛100匁	未分散	10月6日	中段 1段分	117	0	0.0	2.0	24.3